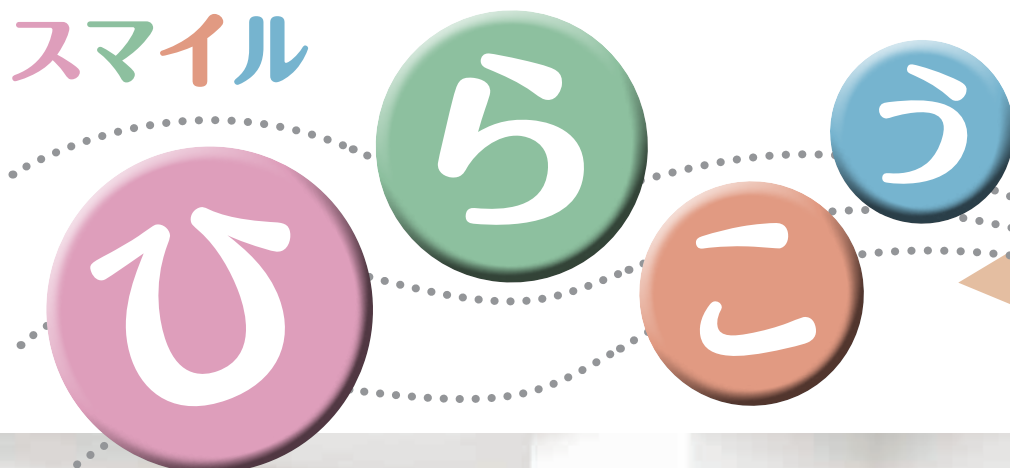


スマイル



2025

夏



特集

zoomで聴けるメディカルコントロール ～人を大切に思う言葉でチームワークをつなごう～

SASを見つけて治療しよう!!／Information／2階西病棟について／
認定看護師通信 vol.71

ZOOMで聴けるメディカルコントロール 人を大切に思う言葉でチームワークをつなごう



枚方公済病院 救急科医師の山邊裕子です。今回 救急隊へ向けた「zoomで聴けるメディカルコントロール」を、当院循環器スタッフ高木医師と担当させて頂くことになりましたのでご紹介させていただきます。少しだけ自己紹介をさせていただきます。平成20年 金沢医科大学を卒業後、初期臨床研修1年次は京都大学、2年次は島根県の隠岐島前病院・島後病院、京都大学循環器内科を経て、枚方公済病院で循環器スタッフとして若手時代を過ごしました。9年目を迎える頃、前任の北口先生から当院の初期研修医教育を担当するよう指示を受けたのですが「研修医さんをお預かりするのであれば各科先生方にご協力をお願いするため、コミュニケーションが取れるよう救急部の環境整備をしたいです。2年間、当院を休職して救急医をします」と、北口先生に全国行脚のお願いをしたのを覚えています。もともと当院循環器内科は、前任の北口勝司先生のご友人、太田凡先生が開かれた京都府立医科大学 救急医療学教室の先生方を循環器研修先としてお受け入れしていました。私は、この京都府立医科大学に逆留学という形で、京都、綾部、西伊豆、愛知と3ヶ月から半年コースでローテートさせていただきました。各研修の中で地域住民と共に年齢を重ね、人間らしい日々を送っていらっしゃる先生方に人生のメッセージをたくさんいただきつつ、各専門家の有り難さ、コミュニケーションのために必要なキーワードを再認識しました。医師11年目で枚方公済病院に戻ってからは、救急現場で、初期研修医先生方のご指導を担当させて頂いています。全職員のおかげで、初期研修医プログラムも徐々に確立しました。若い先生方が全国に羽ばたき、地域医療を支える存在になっているのを見ると嬉しい限りです。

さて、次に初期研修医教育が確立した頃に思いついたのが若手救急隊への指導でした。コロナ禍で若い方達が失った物は大きく、一時はマインドさえ失いつらい思いをされた救急隊は多かったのではないかと思います。2年前、思い立って、救急懇話会で、コロナ禍を頑張ってくださった救急隊向けにと「明日から使える医療プレゼンテーション」という講義をしたところ、それなりに需要があったという言葉をいただきました。引き続き言葉の面白さを伝えられないか。

「大事な人が普段と違う」を伝えられるか、これは、人を大切に思う気持ちにより自然に生まれてくるものであり、さらに、ここに選定というテクニックが加わることで、地域皆で患者さんを支えていけるのではないかと考えます。

今回の救急隊への「zoomで聴けるメディカルコントロール」は、症例検討会のスライドを作るという負担を全て排除し「〇月〇日今日の枚方公済病院はこんな感じです」と始まるトーク、救急隊の皆様に書いていただいた搬送症例に関する医療的な質問にできるだけ沢山回答すること、救急隊パネリストからの感想で構成されます。何かしていただきながらの、ながら聞きで結構です。パネリスト以外の方は画面に映る必要もありません。お時間がありましたらお付き合い頂けたら幸いです。



医療は人を+αで幸せにする仕事でも、偉大な事を出来る仕事でもないとは私は考えています。時に、どれほどお世話になった方でも運命は止められず、一日一日、家族の希望を自分が閉じていくような言葉しかかけられない時もあります。それでもセーフティーネットから落ちかけていた患者さん達を自分たちの言葉から始まる医療でベースラインに戻し、一人でも出会ってよかったと思ってくださる人がいればいい、「自分の言葉がつなぐチームプレー」を若手の皆様にお伝えできればと思います。

救急科 副科長 兼 循環器内科 副部長 山邊 裕子

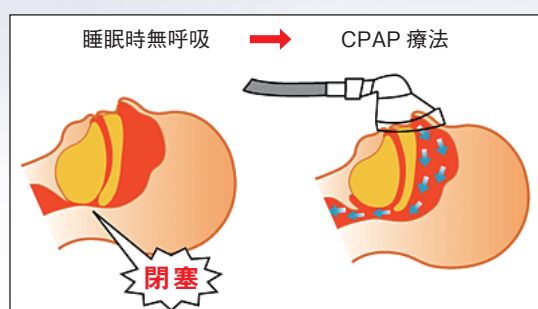


SASを見つけて治療しよう!!

SAS（睡眠時無呼吸症候群）の患者さんは、潜在的に 300-500 万人!? (Philips 2018.9.1 の記事より) 程度存在するといわれています。

以前当院の検査科から紹介があったように、SAS の治療を行う前に、簡易 PSG や精密 PSG という検査を行い確定診断をつけます。

SASの基準を満たした方は、CPAPと呼ばれる機器を使用して治療を受けます。



CPAP 自体は、難しい操作や複雑な動きを必要としない単純な機械です。

しかし、服薬治療や運動療法と同じで、患者さん自身が使用意志を持って毎日使用しないと治療効果は得られません。患者さんへ指

導するのが難しいポイントですが、当院ではしっかりと時間をかけて、患者さんへ指導を行っています。

また、CPAP 療法はマスクを用いて気道へ空気を送気します。患者さんの継続率を維持するために、マスク選びも重要となります。マスクによっては磁石を用いているものがあります。この磁石は強力で、植込み型医療機器（脳動脈クリップやペースメーカー、植込み型除細動器等）に干渉し、予期せぬ不具合が起こる恐れがあります。そのことを念頭に、マスク選びを慎重に行っております。

当院では年間 20-30 人程度の方に CPAP を導入しています。お困りごとや気になることがあればぜひお問い合わせ下さい。

臨床工学科 CPAP 指導士 藤本 風太



Information

● 第 14 回北河内心疾患多職種勉強会

令和7年6月28日(土)16時より枚方ビオルネ5階にて、「睡眠時無呼吸症候群」をテーマに第14回北河内心疾患多職種勉強会を開催致しました。講演後は診療所の先生方を交えたディスカッションやグループワークを行い、貴重な意見を交換することができました。参加者は、会場参加とWEB視聴を合わせて108名でした。



第14回

北河内心疾患多職種勉強会



睡眠時無呼吸症候群(SAS)の問題は、
いびきや日中の眠気だけじゃない！
心不全は夜つくられる



2025年6月28日(土) 16:00-17:00

ハイブリッド開催 ■ 会場: 枚方ビオルネ5階 イベントルーム
〒573-0031 大阪府枚方市市田本町7-1 5階

PROGRAM

16:00-16:30

開会式

山田 誠 先生 医療法人社団クリニック 院長 (医師)

16:30-17:00

講演

山本 貴士 先生 枚方公済病院 循環器内科 部長 (医師)

16:00-16:20

SASってサスガに笑えない!?～寝てる間に‘心’ドキドキ～

講師 見保 充則 先生 枚方公済病院 循環器内科医長 (医師)

16:25-16:45

眠れない夏、止まらないSAS～CPAP治療について～

講師 藤本 風太 さん 枚方公済病院 (臨床工学技士)

16:50-16:55

ディスカッション

江藤 洋子 先生 大塚クリニック 院長 (医師)

妹尾 健 先生 せのむろ科 院長 (医師)

村中 弘之 先生 りんがクリニック 院長 (医師)

16:55-17:00

閉会式

木村 剛 先生 枚方公済病院 院長 (医師)

RAINBOW PROJECT

会場で当日に開催の際、ご参加者 および ご方名の入力をお願いいたします。後援単位に登録済みと、ご参加にご名前は、医療法人および医業・薬業に関する情報提供のみに利用させていただきますことといたします。

共催 KKR 枚方公済病院・第一三井株式会社

2階西病棟についてご紹介します

当院の2階西病棟は、循環器内科と血液内科を中心とした病棟で、患者さん一人ひとりに寄り添いながら、専門性の高い医療と温かい看護を提供しています。

循環器内科における心不全や狭心症、心筋梗塞などの治療では、急性期の対応だけでなく、退院後の生活を見据えた看護が重要です。看護師が患者さん一人ひとりに寄り添いながら、生活習慣の見直しや療養指導を行い、再発や再入院を防ぐための支援に力を入れています。昨年からは1年以内に再入院となった心不全患者さんを対象に、再発防止のための援助を強化しています。外来での心臓リハビリや通院中の心不全患者さんへの指導にも積極的に関わっています。入院中から退院後まで継続的に看護を提供し、患者さんが安心して日常生活を送れるようサポートしています。

血液疾患の治療は化学療法や自家末梢血幹細胞移植を実施しており、長期間に及ぶことが多く患者さんの身体的・精神的負担が大きいため、看護師が中心となり治療の継続を支

える体制を整えています。また、病棟には無菌室（個室4床・総室8床）を備え、感染予防に細心の注意を払いながら患者さんが安心して療養できる環境を提供しています。治療による生活の変化や制限に対応するため、患者さんやご家族と密に関わり、医師・薬剤師・栄養士・理学療法士と繰り返しカンファレンスをしながら、個別のニーズに合わせた支援を行っています。療養指導を通じて治療の理解を深め、前向きに治療へ向き合えるようサポートしています。

2階西病棟の看護師の業務は病棟内だけでなく、患者さんの生活環境を整えるため退院前自宅訪問や退院後自宅訪問も積極的に行っています。環境調整や生活指導を行い、患者さんにご家族が安心して過ごせるよう支援しています。

これからも患者さんに寄り添いながら安全で温かい看護を提供し、質の高い医療を支えることを大切にしていきたいと考えています。

2階西病棟師長 石橋 直子



レインボー手帳



無菌室



カンファレンス風景

活動報告



尿道留置カテーテル関連感染症は様々な影響を及ぼします。当院では挿入や抜去の登録を元に尿道留置カテーテル関連感染率などを算出しています。尿道留置カテーテルでの感染率を算出するためには正確な数値が必要です。介入すべき対策を明らかにするために、

病棟ラウンドを行い登録と実際の使用患者にズレがないかを調査しました。

感染対策の実施状況の確認と共に尿道留置カテーテルの使用状況について確認しました。月によってバラつきはありますが、下記の結果になりました。

	ラウンド開始前	ラウンド開始後
抜去登録もれ	7.0%	2.5%
挿入登録もれ	4.7%	1.6%

また、ラウンド時に採尿バッグの床付きを見かけることがあります。尿道留置カテーテル関連感染症の発症要因として、採尿バッグからの逆行性感染が17%

といわれています。ベッドを少し上げる、吊り下げるベルトを最短にするなど少し意識するだけで改善できる事なので注意しましょう。

尿道留置カテーテルの心得

< 尿道留置カテーテルの適正な使用 >

- ①急性の尿閉または膀胱出口部閉塞がある
- ②尿量の正確な測定が必要
- ③尿失禁患者の開放創の治癒を促すため
- ④長期に体位固定する必要がある（骨盤骨折のような多発外傷）
- ⑤終末期ケアの快適さを改善
- ⑥周術期使用

最強の感染予防方法



感染管理認定看護師 濱崎 弘文

..... 各分野認定看護師

クリティカルケア：村上／恒吉
慢性心不全看護：原谷
感染管理：篠原
集中ケア：水本
皮膚・排泄ケア：大西／近藤

認知症看護：藤原(則)／佐藤
嚥下・摂食障害看護：日向
がん薬物療法看護：多賀
緩和ケア：藤原(大)



認定看護師の豆知識

呼吸困難時の対応：送風療法

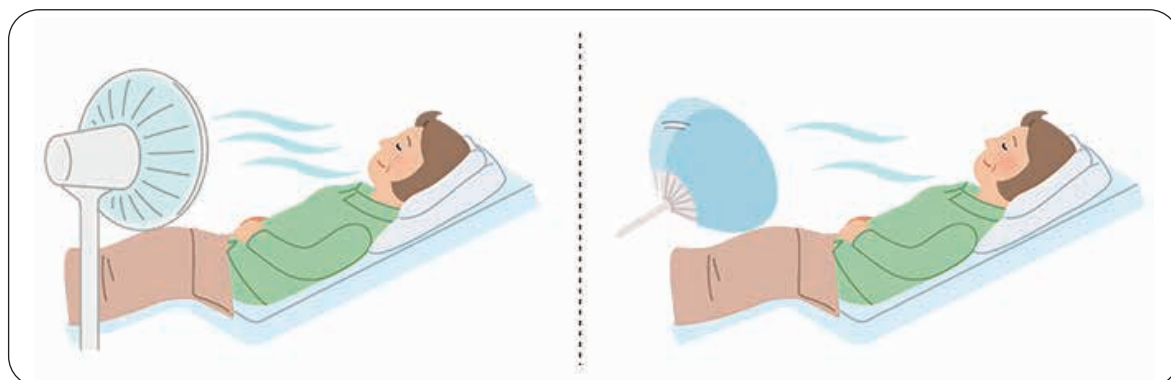
送風療法とは、扇風機（卓上ファン、ネックファンなど）を用いて顔に向けて風を送る支援のことを言います。呼吸困難感の緩和を期待できます。

送風によって呼吸困難の緩和が得られるメカニズムは十分には明らかにされていませんが、三叉神経第2～3枝領域や鼻粘膜への冷風刺激が関与しているという仮説が有力だと考えられています。明らかな低酸

素状態では酸素投与の有用性に及びませんが、『酸素飽和度は保てているのになんで呼吸苦を訴えるんだろう…』というような事例には特に有効です。

最近では小型の卓上ファンも様々な種類があります。比較的安価で入手しやすいという利点もありますので、受け持ち患者さんが在宅へ移行する場合などに導入を検討されてはいかがでしょうか？

緩和ケア認定看護師 藤原 大樹



無料シャトルバスの楠葉方面の運行を開始



これまで枚方公済病院と長尾駅間のみで運行しておりました無料シャトルバスが、2025年4月1日より楠葉方面への運行を開始いたしました。

楠葉方面で設定されている2箇所のお迎え場所及び時刻表等詳しい情報は枚方公済病院のホームページでご確認ください。

ぜひご利用いただきたいです。



<https://hirakoh.kkr.or.jp/>

くずは①
7:50

くずは②
7:53

長尾
8:15

枚方公済病院

枚方公済病院
12:33

長尾
降車のみ

くずは①
13:05

くずは②
13:08

交通のご案内

JRをご利用の場合

【電車】JR 学研都市線長尾駅下車 徒歩 10 分

【バス】長尾駅から京阪バス枚方市駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

【電車】JR 学研都市線藤阪駅下車 徒歩 10 分

【バス】藤阪駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車

京阪電車をご利用の場合

【電車】京阪本線枚方市駅下車（京阪バス南口から長尾駅行）

【バス】枚方市駅から京阪バス長尾駅行【63】に乗車、枚方公済病院下車



理念と基本方針

理念

医療への貢献と奉仕

基本方針

- 地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
- 患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
- 病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
- 強く、優しく、頼れる病院を目指す。



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院



※病院ホームページ

〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号
TEL 072 (858) 8233 FAX 072 (859) 1093
<https://hirakoh.kkr.or.jp/>